

図書館利用講座

2010

内 容

序 章 論文・レポートを作成するにあたって

第1章 図書・雑誌を探す

- 1 長久手・守山キャンパス図書館を利用する
- 2 国内の大学図書館等を調べる
- 3 公共図書館を調べる
- 4 海外の図書館を調べる

第2章 論文を探す

- 1 総合的に国内論文を探す
- 2 総合的に海外論文を探す
- 3 主題別に論文を探す

第3章 他機関の資料を利用する

- 1 資料を入手する方法
- 2 I L L (InterLibrary Loan) サービス

第4章 いろいろな資料を探す

- 1 国書（江戸時代以前の日本の本）を探す
- 2 史料を探す
- 3 漢籍を探す
- 4 新聞記事を探す
- 5 辞書・事典を探す
- 6 行政情報を探す

参考資料

平成22年10月

愛知県立大学学術情報センター 長久手キャンパス図書館

目 次

序章 論文・レポートを作成するにあたって	1
1 論文・レポート作成の10のステップ	2
2 事前調査	3
3 「イモヅル式」と「二次資料検索法」	3
4 文献探索のポイント	4
5 論文とは	4
第1章 図書・雑誌を探す	5
1 長久手・守山キャンパス図書館を利用する	6
1. 1 OPAC	6
1. 2 データベース・電子ジャーナル	9
2 国内の大学図書館等を調べる	10
2. 1 Webcat Plus	10
3 公共図書館を調べる	11
4 海外の図書館を調べる	13
第2章 論文を探す	15
1 総合的に国内論文を探す	16
2 総合的に海外論文を探す	18
3 主題別に論文を探す	20
3. 1 国語国文・歴史文化の論文を探すデータベース	20
3. 2 中国関係の論文を探すデータベース	21
3. 3 教育・福祉・看護学関係の論文を探すデータベース	22
3. 4 外国語学・欧米関係の論文を探すデータベース	25
3. 5 情報科学関係の論文を探すデータベース	29
第3章 他機関の資料を利用する	31
1 資料を入手する方法	32
2 ILLサービス	32
2. 1 国内の所蔵館から資料・論文を入手する	32
2. 2 海外の所蔵館から資料・論文を入手する	34
第4章 いろいろな資料を探す	37
1 国書（江戸時代以前の日本の本）を探す	38
1. 1 『国書総目録』	38
1. 2 日本古典籍総合目録（国文学研究資料館）	40
2 史料を探す	41
3 漢籍を探す	44
4 新聞記事を探す	45
5 辞書・事典を探す	48
5. 1 JapanKnowledge（ジャパンナレッジ） + NR	48
6 行政情報を探す	49
6. 1 統計	49
6. 2 白書	52
6. 3 法令	53
6. 4 各国の情報・国際協力	56

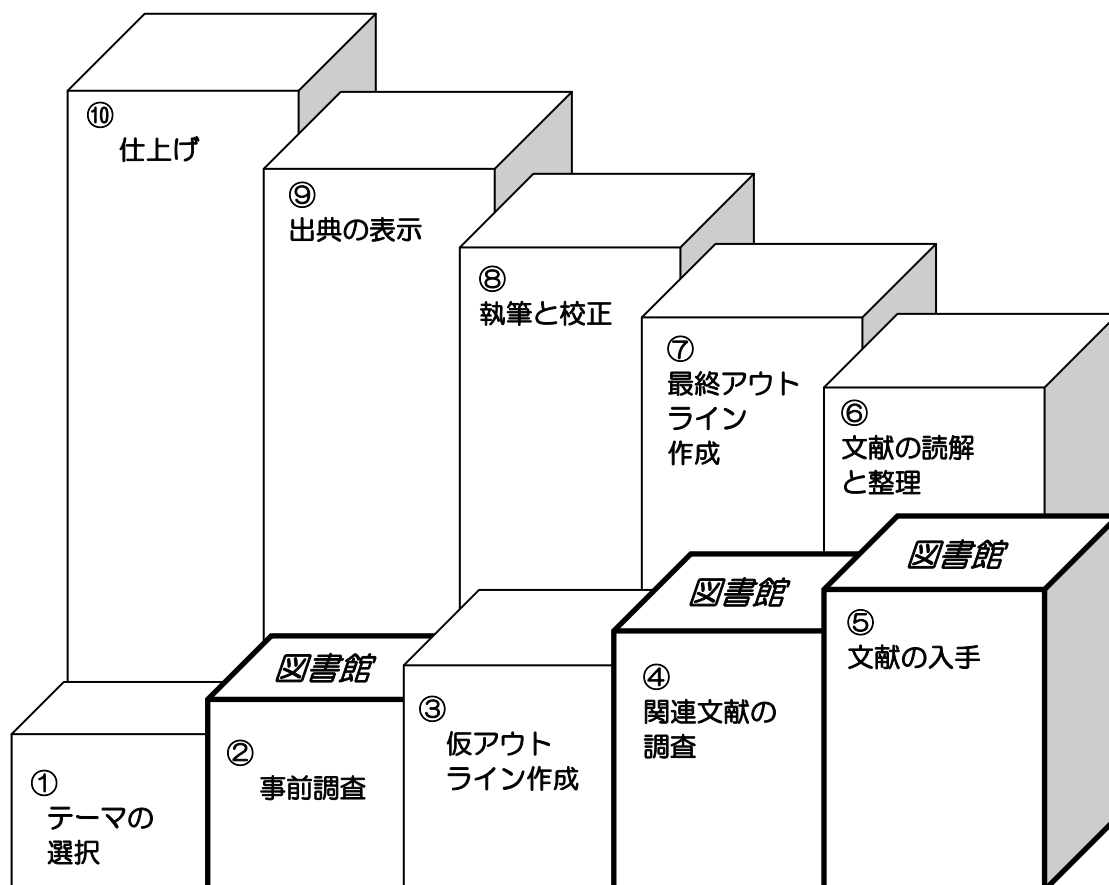
参考資料	57
1 引用、文献リストについて	58
2 「論文の書き方」、「文献調査」の本	60
3 情報科学関係論文で引用されることの多い雑誌・技術報告の略称	63
4 日本十進分類法	64

序章 論文・レポートを作成するにあたって

論文・レポート作成に必要な１０のステップや、代表的な検索法などについて説明します。

1 論文・レポート作成の10のステップ

- ・論文・レポート作成にあたっては、必要なステップを順に、確実に行うことが大切です。主に図書館がお手伝いできる部分は、「②事前調査」、「④関連文献の調査」および「⑤文献の入手」です。



①テーマの選択——書きたいテーマを絞り、訴えたい主張をはっきりさせる。

②事前調査——執筆に入る前に、自分のテーマの全体像とテーマに関係する概念を予め把握しておく。

③仮アウトライン作成——最終的に自分の主張を述べるために必要な内容の骨子を箇条書きにする。

④関連文献の調査——仮アウトラインに沿って、必要な情報が載っている文献を探してリストを作る。

⑤文献の入手——関連文献リストの各文献を所蔵している図書館などを確認し、入手する。

⑥文献の読解と整理——入手した文献を読み解き、自分で評価し、ノートを作り、分類・整理しておく。

⑦最終アウトライン作成——読解、整理した文献の内容をもとにして、仮アウトラインを見直し、修正、追加、削除を行なって最終アウトラインを作る。

⑧執筆と校正——最終アウトラインに沿って材料を文章に書き下ろす。

⑨出典の表示——引用には出典を示す注をつける。

⑩仕上げ——指定どおりの形に整えて、仕上げる。

2 事前調査

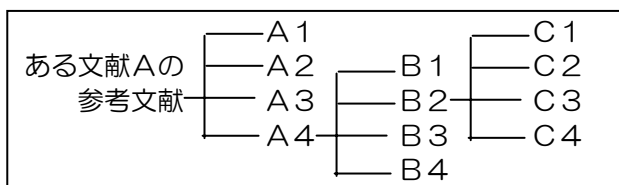
- ・レポートや論文の執筆に入る前に、自分のテーマの全体像とテーマに関係する概念を予め調査し把握しておく必要があります。具体的には次のような調査が考えられます。
 - ①テーマに関連する入門書、百科事典、専門事典などで関連語の項を読む。
 - ②上述の事典等に出てくる基本用語、人物名、事件名などをメモしておき、さらに調べてノートを取る。
 - ③テーマに関連する分野の専門用語も調べる。
 - ④テーマに関連したウェブ上の信頼できるサイトから、最近のトピックや必須情報を入手する。
- ・多くの事典・辞典を掲載したオンラインデータベース「JapanKnowledge（ジャパンナレッジ）」(p. 48 参照) は、事前調査に役立つツールのひとつです。ぜひご活用ください。

3 「イモヅル式検索法」と「二次資料検索法」

- ・文献検索には、大きく分けて二つの方法があります。「イモヅル式検索法」と「二次資料検索法」です。この二つの方法を組み合わせることにより、より網羅的な検索ができます。

「イモヅル式検索法」とは

信頼できる一つの文献（図書や論文）を起点にし、その巻末などに記載されている「引用・参考文献」の中から必要と思われるものをたどっていく方法。



[参考文献例]

- ① 井上史雄(1998)『日本語ウォッチング』、岩波書店。
- ② 岩崎育夫(1991)「リー・クワンユー政権の31年」、『アジアトレンド』1991、53巻：99-122。
Jasbir Sarjit Singh(1980) "Higher Education and Social Mobility: Tie Role of the University of Malaya", *Southeast Asian Journal of Social Science*, Vol. 8, No. 1.

大原始子『シンガポールの言葉と社会』三元社 2002

①図書の例

著者（出版年）『書名』、出版者

②雑誌論文の例

著者（発表年）「論文名」、
『掲載雑誌名』掲載年、
掲載巻号：掲載ページ

「二次資料検索法」とは

文献目録、記事索引など「二次資料」を使って資料を集める方法。「二次資料」には本の形態をした冊子体のものと、CD-ROMやインターネット上に公開されたデータベースのものとがある。

[二次資料例]

5957	植月 徹	ジョン・キャップグレイブの『年代記略記』訳注—3—：岡山商大論叢 35(3) [2000.1] p233~273
Capote, Truman (1924—1984) 〈米〉		
〔図 書〕		
5958	クラーク, ジェラルド 中野 圭二訳	カポーティ 文芸春秋 1999.4 694p
5959	浜野 成生	老いの論理学—トルーマン・カポーティ「ミリアム」〈アメリカ短編小説を読み直す—女性・家族・エスニシティ 日本マラマッド協会編 北星堂書店 1996.4) p241~253
5960	ブリンプトン, ジョージ 野中 邦子訳	トルーマン・カポーティ 新潮社 1999.12 556p
〔雑 誌〕		
5961	秋山 知己	閉ざされた空間の住人—トルーマン・カポーティの“Miriam”と“A Lamp in a Window”：PERSICA(岡山英文学会) 23 [1996.3] p83~89
5962	有賀 明子	カポーティ文学の定点、『クリスマスの思い出』：RANDOM(東京外大院) 20 [1995.9] p15~30

安藤勝編 『英米文学研究文献要覧』日外アソシエーツ 2001

4 文献探索のポイント

4. 1 正確な書誌情報を早い段階で確保する

- ・ 図書の書誌情報
→ 書名、著編訳者名、出版者、出版年月、シリーズ名、ISBN、NACSIS-ID など
- ・ 雑誌の書誌情報
→ 雑誌名、巻号・通号、年月、ISSN、NACSIS-ID など
- ・ 論文の書誌情報
→ 論文名、著者名、掲載雑誌名、巻号・通号、年月、掲載ページ、ISSN、NACSIS-ID など

4. 2 二次資料（目録、データベース）の使い方を確かめる

- ・ 冊子体、データベースのいずれも、ツールによってそれぞれ使い方が異なります。
- ・ 使用する際には凡例やヘルプなどをよく読んで、収録範囲、記号・表記のルール、検索値の入力方法などを確認してください。

4. 3 インターネットからの情報だけに頼らずに

- ・ インターネットですべてのことが調べられるわけではありません。
- ・ インターネット上で見つからないからといって、存在しないとはかぎりません。
- ・ また、意外に最近の情報しか入手できないこともあります。
- ・ こうしたインターネットの限界を念頭におき、必要に応じて冊子体のツールを併用するなど、多角的な探索を心掛けましょう。
- ・ 本学で利用できるオンラインデータベース「JapanKnowledge」には、検索結果から、該当テーマに関連した Web 上の信頼できるサイトへのリンクがあります。

5 論文とは

- ・ 多くの研究成果は、学術雑誌や、大学等が発行する紀要に個々の「論文」として発表されます。雑誌論文からは、図書として出版されるよりも早い情報を得ることができます。また、特定テーマについてのより専門的な情報を持つものが多いのも特徴です。
- ・ このような点から、論文の収集は、論文・レポートの作成には欠かせないものです。
- ・ 雑誌論文を入手するには、まず、その雑誌論文が掲載された雑誌名、巻号、年月、掲載ページ、ISBN、NACSIS-ID などを知る必要があります。
- ・ 雑誌ではなく、論文集などの図書に掲載される論文もあります。その場合は、掲載された図書名、出版者、出版年月、掲載ページ、ISSN、NACSIS-ID などを知る必要があります。